



# 教師国内研修の概要

## ◆JICA 北海道 2021 年度教師国内研修の目的

従来、JICA 北海道では、国際理解教育に取り組んでいる教員・教育関係者の方々を対象とした、開発途上国における国際協力の現場や、人々の生活を視察する研修プログラム「教師海外研修」を実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症による影響により、教師海外研修の実施が困難な状況になったため、2021 年度は、教師海外研修の代替事業として、北海道内で教材開発に取り組む「教師国内研修」を実施しました。

2021 年度教師国内研修は、北海道内の SDGs 達成に向けた取り組みについて学び、学習指導案の作成、授業の実践につなげ、学校現場で国際理解・開発教育を実践する教員の育成を図ることを目的として実施しました。

## ◆実施体制

主催：独立行政法人 国際協力機構 北海道センター（JICA 北海道）

後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会

協力：北海道開発教育ネットワーク（D-net）

## ◆研修協力先の紹介

2021 年度は、三つの地域の関係者にご協力いただきました。

※氏名、ご所属先は研修実施当時のものです。

### ●NPO 法人 森の生活

講師：代表 麻生 翼氏

住所：北海道上川郡下川町南町 477 番地

●東川町立東川日本語学校

講師：多文化共生室室長 山口 ちえ氏

推進室マネージャー 高野 悠己氏

住所：北海道上川郡東川町北町 1-1-1 複合交流施設 セんとぴゅあ！

●東川町立東川小学校

講師：木村 智美 教諭

住所：北海道上川郡東川町西 4 号北 8

●うらほろスタイル関係者

講師：NPO 法人うらほろスタイルサポート 理事 本間 悠資氏

うらほろ子ども食のプロジェクト 事務局長（十勝おかだ農園）岡田 愛啓氏

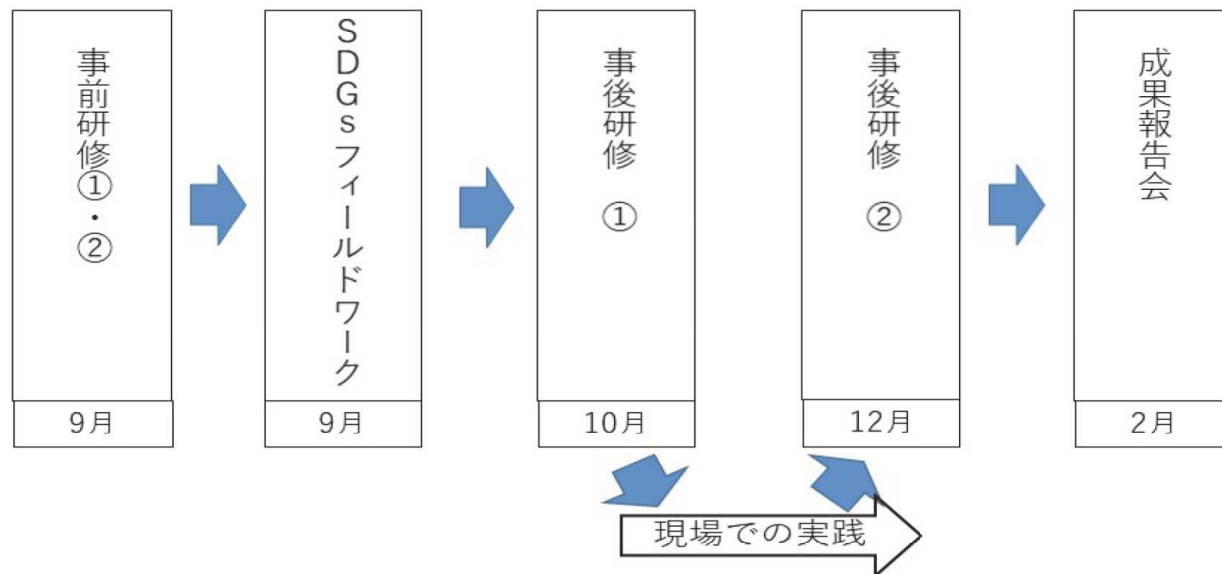
子どもの想い実現ワークショップ 座長（浦幌印刷） 高室 智全氏

住所：十勝郡浦幌町字本町 16-1 （うらほろスタイル複合施設 FUTABA 内）



## ◆研修全体のスケジュール

各研修・報告会の日時・実施方法等は、以下のとおりです。



### 2021年度 教師国内研修 年間研修日程

研修	日時	内容	実施方法
事前研修①	2021年 9月11日 10:00-18:00	・本研修の概要説明 ・国際理解教育、SDGs 概要 ・研修目標の共有や情報収集等	オンライン
事前研修②	9月12日 10:00-17:00	・SDGs をテーマとした教材体験 フィールドワークでの調査手法や教材化について	オンライン
SDGs フィールド ワーク	9月18日 9:00-19:00 9月19日 9:00-17:00	・下川町、東川町、浦幌町の取り組みに触れ、 グループワークを通して学びを深めるインタビュー を行う ・個人ワークで指導案の素案を作成とアドバイザー による学びの振り返り	オンライン  (緊急事態宣 言により、対面 からオンライ ンでの実施に 変更)
事後研修①	10月2日	・オリジナルの教材/指導案検討会	オンライン
事後研修②	12月4日	・オリジナルの教材/指導案の共有、参加者による模 擬授業の実施とその検討会	対面/  オンライン
成果報告会	2022年 2月5日	・参加者による研修概要説明、模擬授業、教材紹介の 実施	オンライン

## ◆参加者

2021 年度教師国内研修の参加者は次の 6 名です。

No.	区分	氏名	所属先	教科等
1	小学校	おおた みなみ 太田 三菜美	中標津町立中標津小学校	6 学年
2	中学校	やまもと ありさ 山本 有紗	厚真町立厚南中学校	英語 家庭科
3	高校	くどう よしの 工藤 よしの	北海道釧路北陽高等学校	2 学年 英語
4		たけもと まき 竹本 万亀	北海道釧路北陽高等学校	美術
5		さいとう ちあき 齋藤 千晶	北海道滝川西高等学校	1 学年 音楽
6		すぎやま たくや 杉山 拓哉	北海道興部高等学校	地歴公民

## ◆アドバイザー紹介

本研修では、国際理解教育の実践者としてアドバイザーの方からご指導・ご助言をいただきながら学習指導案の作成、授業実践を行いました。

アドバイザー：北海道開発教育ネットワーク(D-net) 代表 堀 幸美氏

北広島市立大曲小学校教諭（2021 年度現在）/日本国際理解教育学会会員/北広島市国際交流協議会役員/  
大津シニアゼミメンバー

2008 年 JICA 北海道教師海外研修（タンザニア）に参加以来、国際理解教育の教材作成の面白さに目覚める。北海道教育大学名誉教授 大津和子氏に師事し、学級担任をしながら、国際理解教育教材を毎年自作。東京書籍『教室の窓』等で実践報告をしている。

2018 年には、JICA 北海道長期研修生として 1 年間 JICA 北海道に勤務。教師海外研修(スリランカ)に同行。

年に 1,2 回のペースで、主に途上国へのスタディツアー実施。延べ 22 か国歴訪。夏休みは、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（ハイエック）主催 アジアの架け橋養成事業にて、高校生 10 名ほどを途上国へ引率。帰国後、JICA エッセイコンテスト応募。毎年優秀入賞者を輩出している。

国際理解教育について自らも学びつつ、出前授業や研修等を通して北海道の教員への周知浸透を地道に実践中。

※ 氏名・所属先は参加当時のものです。

